

学校だより

令和7年6月 6日

しいの実

第6号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「仲間と関わり合いながら確かな学力と人権感覚を身に着け、たくましく生きる子の育成」

■ 高学年サーチ学習

鈴西小学校では、毎年、地域について自分たちで課題を見つけ解決に向けてできることを考えたり、考えたことを学校や地域全体に発信したりすることを目的として「サーチ学習」に取り組んでいます。今年度は、少し学習方法を変えました。昨年度までは、1～3年を低学年、4～6年を高学年として学習活動を計画実行していましたが、今年度からは1・2年を低学年、3・4年を中学年、5・6年を高学年として3つに分けて取組を進めていくことになりました。

高学年は、鈴西小校区でたくさん栽培されている「お茶」をテーマにして学習に取り組むこととなり、5月29日（木）3・4限に「鈴鹿の七樹」様ご協力のもと、施設の見学をさせていただきました。

今年度初めての学習なので、まずは自分が調べたい課題を見つけなければなりません。なので、今回のめあては

お茶にかかわる方々のお話を聞き、お茶について深く考えて、調べたい課題を決めることができる。

です。



まずは、お世話になる水野さんにご挨拶です。



お茶を乾燥させる機械を見
せてもらっています。

お茶ができる工程を一通り説明いた
す。だき、疑問や調べたい課題を見つけた



暑いなあ。ここで仕事
をするのは大変だなあ。
大丈夫なのかなあ

お茶を蒸している部屋です。



最後に、見学をしてみて疑問に思ったことを水野
さんに質問します。

何人が働いているのですか。

できたお茶はどこへ行くのですか。

最後の質問タイムでは、「何人の人が働いているのか。」「できたお茶はどこに行っているのか。」「といった仕事そのものへの質問や「なぜ、お茶の仕事をしているのか。」「大変なことはなにか。」など、仕事への思いへの質問等たくさん尋ねることができました。

見学をさせていただいたことにより、高学年のみんなはたくさんの疑問をもつことができました。今回の活動を足掛かりに子どもたちは、今後さらに調べてみたいことや課題を見つけ、自分たちでできることを考え、実行に向けて学習を深めていきます。学習の成果は「森のまつり」等で発信します。楽しみにしててください。

今回、お忙しい中、施設やお茶づくりの工程について丁寧に説明していただいた水野様、本当にありがとうございました。

■ チャレンジタイムを実施しました

子どもたちが「もっと勉強がわかるようになりたい。」「苦手を克服したい。」「一人ではなかなかできない宿題をきちんとしたい。」などと思いをもち、主体的に学習する姿勢に応えるため、今年度から始めた取り組みです。1学期中に4回実施する予定となっておりますが1回目が5月30日（金）に実施されました。



チャレンジタイムに参加している子どもたちはそれぞれ、「自分の課題」を意識し「もっとわかるようになりたい。」「できるようになりたい。」と課題解決への意欲が高い様子が見られました。もちろん、本当は嫌だったけれど「このままではいけない。」と自分で考えた子や、家族から背中を押されてきた子もありますが、どの児童も「何とかしなければ」と考え、課題に正面から向き合うことができている。この「何とかしなければ」という気持ちは、自主的な課題解決の出発点になると思います。確かに「みんなが早く帰って遊んだりゲームをしたりできているのに、学校に残ることは「損」と感じるかもしれません。でも、何か月、何年か後の成長を考えた時、何が「得」になるのか考えられる人に育てて欲しいです。そして、鈴西小の子どもたちが自主的に課題解決に取り組むことで基礎学力が付き「やればできる。」と自己肯定感が高まっていくように育てていきたいと考えます。